



平成 25 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 川田テクノロジーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 川田 忠裕
(コード番号 3443 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 宮田 謙作
(TEL. 03-3915-7632)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 12 月 2 日付の当社適時開示「過年度決算修正による見込みの概要および決算発表予定日について」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 23 年 11 月 11 日付「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線 を付して表示しています。

以 上

【訂正後】



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 (TEL) 03(3915)7722
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	38,477	△20.9	617	△79.6	742	△90.7	813	△88.8
23年3月期第2四半期	48,631	△7.9	3,033	21.3	8,000	198.3	7,270	328.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 825百万円(一%) 23年3月期第2四半期 7,216百万円(一%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第2四半期	円 銭 142.82	円 銭 —
23年3月期第2四半期	1,276.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第2四半期	百万円 92,969	百万円 28,739	% 30.7
23年3月期	100,124	28,198	28.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 28,528百万円 23年3月期 28,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	△17.6	300	△86.6	300	△95.9	300	△90.6	52.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	5,781,070株	23年3月期	5,781,070株
24年3月期2Q	81,916株	23年3月期	81,781株
24年3月期2Q	5,699,247株	23年3月期2Q	5,694,155株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4)	継続企業の前提に関する注記	10
(5)	セグメント情報等	10
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4.	補足情報	12
	生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災により大きな打撃を受け、その後サプライチェーンの回復等から着実な持ち直し傾向がみられるものの、歴史的円高や不安定な海外経済動向により、景気の先行きは今までになく不透明な状況で推移いたしました。

建設業界につきましては、震災復旧のための第3次補正予算により瓦礫処理などの発注が相次ぎましたが、本格的な需要回復には至っておらず、依然として需要停滞に伴う枯渇感が業界に蔓延しています。民間工事においても震災の影響により新規投資への意欲は低く、低価格による受注競争が続く厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは生産性・品質の向上、営業力強化、管理機能の強化に継続的に取り組むとともに、各グループ会社の特性を活かし事業シナジーを高めることで、受注量の確保と採算性の向上に努めてまいりました。

しかしながら、受注高は36,176百万円（前年同四半期比13.9%増）と前年度を上回ったものの、売上高は38,477百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。

収益面につきましては、営業利益は617百万円（前年同四半期比79.6%減）、経常利益は742百万円（前年同四半期比90.7%減）、四半期純利益は813百万円（前年同四半期比88.8%減）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

(鉄構セグメント)

鉄構セグメントにおきましては、年度繰越工事高の減少が影響し、売上高は22,147百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。収益面では、設計変更獲得による収益性の改善に努めましたが、価格競争が激化したことに加え、低採算の工事が増加したことにより営業利益は1,920百万円（前年同四半期比43.2%減）となりました。

(土木セグメント)

土木セグメントにおきましては、受注高は増加したものの年度繰越工事高の減少が影響し、売上高は9,772百万円（前年同四半期比32.6%減）と前年実績を大きく下回る結果となりました。また収益面では、売上高減少に伴う採算性の悪化を補うため、コストの低減等に努めましたが、営業損失203百万円（前年同四半期は営業利益726百万円）と採算を確保するには至りませんでした。

(建築セグメント)

建築セグメントにおきましては、公共事業の削減及び民間設備投資の抑制など建築市況の低迷により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、売上高は4,092百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。収益面では、コスト低減に一層努めた結果、営業利益33百万円（前年同四半期は営業損失35百万円）と採算を確保することができました。

(その他)

その他におきましては、売上高は3,089百万円（前年同四半期比9.7%減）となりました。収益面では、震災による影響で航空運送事業の採算性が悪化し、連結各社において販売費及び一般管理費の縮減に努めたものの、営業損失408百万円（前年同四半期は営業損失211百万円）の計上となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における「資産の部」は、92,969百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,154百万円 ($\Delta 7.1\%$) 減少しました。これは主に前連結会計年度末までに完成した工事債権の回収及び受取手形の決済等が進み、受取手形・完成工事未収入金等が7,275百万円減少し、現金預金が502百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、64,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,695百万円 ($\Delta 10.7\%$) 減少しました。これは主に支払手形・工事未払金等が4,739百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は28,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ540百万円 ($+1.9\%$) 増加しました。これは主に剰余金の配当により284百万円減少し、当四半期純利益の計上により813百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、500百万円増加し6,995百万円 ($+7.7\%$) となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、3,698百万円の資金増加（前年同四半期連結累計期間は1,398百万円の資金増加）となりました。これは主に売上債権の減少等による資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、820百万円の資金減少（前年同四半期連結累計期間は210百万円の資金減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得等による資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,370百万円の資金減少（前年同四半期連結累計期間は514百万円の資金増加）となりました。これは主に借入金の返済による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の連結業績予想の内容と変更はございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,722	7,224
受取手形・完成工事未収入金等	38,114	30,838
未成工事支出金	602	850
その他のたな卸資産	676	715
繰延税金資産	49	22
その他	3,093	2,100
貸倒引当金	△263	△247
流動資産合計	48,995	41,505
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,213	5,099
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,840	1,629
航空機（純額）	809	1,023
土地	16,484	16,484
リース資産（純額）	2,670	2,944
建設仮勘定	67	353
有形固定資産合計	27,085	27,534
無形固定資産	973	957
投資その他の資産		
投資有価証券	794	756
関係会社株式	19,592	19,693
長期貸付金	542	533
繰延税金資産	25	—
その他	3,108	2,636
貸倒引当金	△1,016	△667
投資その他の資産合計	23,046	22,952
固定資産合計	51,105	51,444
繰延資産		
創立費	23	19
繰延資産合計	23	19
資産合計	100,124	92,969

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	21,398	16,658
短期借入金	11,601	9,020
1年内返済予定の長期借入金	6,290	6,269
1年内償還予定の社債	358	190
未払法人税等	83	96
未成工事受入金	3,501	3,268
賞与引当金	810	892
完成工事補償引当金	62	93
工事損失引当金	3,319	2,574
損害補償損失引当金	805	789
災害損失引当金	77	63
資産除去債務	5	5
その他	3,342	2,366
流動負債合計	51,657	42,289
固定負債		
社債	335	240
長期借入金	11,180	12,736
繰延税金負債	—	5
再評価に係る繰延税金負債	2,243	2,243
退職給付引当金	3,204	3,229
役員退職慰労引当金	284	259
事業構造改善引当金	300	300
資産除去債務	141	142
負ののれん	306	296
その他	2,271	2,486
固定負債合計	20,267	21,940
負債合計	71,925	64,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,776	13,305
自己株式	△276	△276
株主資本合計	27,868	28,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	3
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	3	28
その他の包括利益累計額合計	134	131
少数株主持分	196	210
純資産合計	28,198	28,739
負債純資産合計	100,124	92,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	48,631	38,477
売上原価	42,277	34,771
売上総利益	6,354	3,706
販売費及び一般管理費	3,321	3,088
営業利益	3,033	617
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	35	38
受取賃貸料	110	115
貸倒引当金戻入額	—	312
負ののれん償却額	10	10
持分法による投資利益	5,451	318
その他	62	54
営業外収益合計	5,675	854
営業外費用		
支払利息	427	406
賃貸費用	237	259
その他	45	64
営業外費用合計	709	729
経常利益	8,000	742
特別利益		
前期損益修正益	15	—
貸倒引当金戻入額	218	—
役員退職慰労引当金戻入額	5	—
保険差益	—	338
その他	29	0
特別利益合計	268	338
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	18	14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	116	—
災害による損失	—	61
その他	2	13
特別損失合計	143	90
税金等調整前四半期純利益	8,124	990
法人税、住民税及び事業税	326	94
過年度法人税等	12	—
法人税等調整額	534	64
法人税等合計	873	159
少数株主損益調整前四半期純利益	7,250	830
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△20	17
四半期純利益	7,270	813

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,250	830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	22
その他の包括利益合計	△34	△5
四半期包括利益	7,216	825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,238	810
少数株主に係る四半期包括利益	△21	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,124	990
減価償却費	1,176	1,077
負ののれん償却額	△10	△9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	251	△364
賞与引当金の増減額 (△は減少)	27	82
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△159	△744
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△48	15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18	25
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△171	△24
受取利息及び受取配当金	△41	△43
支払利息	427	406
持分法による投資損益 (△は益)	△5,451	△318
保険差益	—	△338
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	5
有形固定資産売却損益 (△は益)	△18	0
有形固定資産除却損	18	14
売上債権の増減額 (△は増加)	68	7,275
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	1,727	△248
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△61	△39
仕入債務の増減額 (△は減少)	700	△4,739
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△2,190	△232
その他	△2,241	546
小計	2,147	3,335
損害賠償金の支払額	—	△370
保険金の受取額	—	814
法人税等の支払額	△748	△81
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,398	3,698
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	100	—
有形固定資産の取得による支出	△442	△969
有形固定資産の売却による収入	71	0
無形固定資産の取得による支出	△200	△146
投資有価証券の取得による支出	△7	△3
投資有価証券の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	△25	△6
貸付金の回収による収入	13	13
利息及び配当金の受取額	281	283
その他	0	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210	△820

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△964	△2,581
長期借入れによる収入	5,700	5,220
長期借入金の返済による支出	△3,208	△3,686
社債の発行による収入	350	—
社債の償還による支出	△323	△263
利息の支払額	△438	△406
リース債務の返済による支出	△314	△369
配当金の支払額	△284	△284
その他	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	514	△2,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,700	500
現金及び現金同等物の期首残高	7,349	6,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 9,050	※ 6,995

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	27,465	14,233	3,706	45,405	3,226	48,631
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	548	266	4	819	193	1,012
計	28,013	14,499	3,711	46,224	3,420	49,644
セグメント利益又は損失(△)	3,383	726	△35	4,074	△211	3,862

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,074
「その他」の区分の損失(△)	△211
セグメント間取引消去	106
全社費用(注)	△988
その他の調整額	53
四半期連結損益計算書の営業利益	3,033

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	21,738	9,652	4,092	35,483	2,994	38,477
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	409	120	—	529	95	625
計	22,147	9,772	4,092	36,013	3,089	39,103
セグメント利益又は損失(△)	1,920	△203	33	1,750	△408	1,342

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,750
「その他」の区分の損失(△)	△408
セグメント間取引消去	88
全社費用(注)	△835
その他の調整額	23
四半期連結損益計算書の営業利益	617

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 受注実績

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (百万円)	
		対前年同 四半期比(%)
鉄構	16,996	△8.7
土木	11,605	+121.9
建築	3,875	△7.7
その他	3,698	△0.3
合計	36,176	+13.9

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。

② 販売実績

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (百万円)	
		対前年同 四半期比(%)
鉄構	22,147	△20.9
土木	9,772	△32.6
建築	4,092	+10.3
その他	3,089	△9.7
計	39,103	△21.2
セグメント間取引相殺消去	△625	△38.3
連結	38,477	△20.9

(注) 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載していません。

【訂正前】



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 (TEL) 03(3915)7722
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	38,477	△20.9	617	△79.6	768	△79.7	839	△87.8
23年3月期第2四半期	48,631	△7.9	3,033	21.3	3,777	45.4	6,908	328.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 826百万円(一%) 23年3月期第2四半期 6,867百万円(一%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第2四半期	円 銭 147.39	円 銭 —
23年3月期第2四半期	1,213.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第2四半期	百万円 92,700	百万円 28,149	% 30.2
23年3月期	99,864	27,607	27.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 27,969百万円 23年3月期 27,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	△17.6	300	△86.6	300	△90.8	300	△90.9	52.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	5,781,070株	23年3月期	5,781,070株
24年3月期2Q	81,916株	23年3月期	81,781株
24年3月期2Q	5,699,247株	23年3月期2Q	5,694,155株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災により大きな打撃を受け、その後サプライチェーンの回復等から着実な持ち直し傾向がみられるものの、歴史的円高や不安定な海外経済動向により、景気の先行きは今までになく不透明な状況で推移いたしました。

建設業界につきましては、震災復旧のための第3次補正予算により瓦礫処理などの発注が相次ぎましたが、本格的な需要回復には至っておらず、依然として需要停滞に伴う枯渇感が業界に蔓延しています。民間工事においても震災の影響により新規投資への意欲は低く、低価格による受注競争が続く厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは生産性・品質の向上、営業力強化、管理機能の強化に継続的に取り組むとともに、各グループ会社の特性を活かし事業シナジーを高めることで、受注量の確保と採算性の向上に努めてまいりました。

しかしながら、受注高は36,176百万円（前年同四半期比13.9%増）と前年度を上回ったものの、売上高は38,477百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。

収益面につきましては、営業利益は617百万円（前年同四半期比79.6%減）、経常利益は768百万円（前年同四半期比79.7%減）、四半期純利益は839百万円（前年同四半期比87.8%減）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、年度繰越工事高の減少が影響し、売上高は22,147百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。収益面では、設計変更獲得による収益性の改善に努めましたが、価格競争が激化したことに加え、低採算の工事が増加したことにより営業利益は1,920百万円（前年同四半期比43.2%減）となりました。

（土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、受注高は増加したものの年度繰越工事高の減少が影響し、売上高は9,772百万円（前年同四半期比32.6%減）と前年実績を大きく下回る結果となりました。また収益面では、売上高減少に伴う採算性の悪化を補うため、コストの低減等に努めましたが、営業損失203百万円（前年同四半期は営業利益726百万円）と採算を確保するには至りませんでした。

（建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、公共事業の削減及び民間設備投資の抑制など建築市況の低迷により、引き続き厳しい事業環境が続きましたが、売上高は4,092百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。収益面では、コスト低減に一層努めた結果、営業利益33百万円（前年同四半期は営業損失35百万円）と採算を確保することができました。

（その他）

その他におきましては、売上高は3,089百万円（前年同四半期比9.7%減）となりました。収益面では、震災による影響で航空運送事業の採算性が悪化し、連結各社において販売費及び一般管理費の縮減に努めたものの、営業損失408百万円（前年同四半期は営業損失211百万円）の計上となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における「資産の部」は、92,700百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,164百万円 (△7.2%) 減少しました。これは主に前連結会計年度末までに完成した工事債権の回収及び受取手形の決済等が進み、受取手形・完成工事未収入金等が7,275百万円減少し、現金預金が502百万円増加したことによるものであります。

また、「負債の部」は、64,550百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,706百万円 (△10.7%) 減少しました。これは主に支払手形・工事未払金等が4,739百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は28,149百万円となり、前連結会計年度末に比べ541百万円 (+2.0%) 増加しました。これは主に剰余金の配当により284百万円減少し、当四半期純利益の計上により839百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、500百万円増加し6,995百万円 (+7.7%) となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、3,938百万円の資金増加（前年同四半期連結累計期間は1,638百万円の資金増加）となりました。これは主に売上債権の減少等による資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,060百万円の資金減少（前年同四半期連結累計期間は450百万円の資金減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,370百万円の資金減少（前年同四半期連結累計期間は514百万円の資金増加）となりました。これは主に借入金の返済による資金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の連結業績予想の内容と変更はございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,722	7,224
受取手形・完成工事未収入金等	38,114	30,838
未成工事支出金	602	850
その他のたな卸資産	676	715
繰延税金資産	205	177
その他	3,093	2,100
貸倒引当金	△263	△247
流動資産合計	49,150	41,660
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,213	5,099
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,840	1,629
航空機（純額）	809	1,023
土地	16,484	16,484
リース資産（純額）	2,670	2,944
建設仮勘定	67	353
有形固定資産合計	27,085	27,534
無形固定資産	973	957
投資その他の資産		
投資有価証券	794	756
関係会社株式	19,176	19,268
長期貸付金	542	533
繰延税金資産	25	—
その他	3,108	2,636
貸倒引当金	△1,016	△667
投資その他の資産合計	22,630	22,527
固定資産合計	50,689	51,019
繰延資産		
創立費	23	19
繰延資産合計	23	19
資産合計	99,864	92,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	21,398	16,658
短期借入金	11,601	9,020
1年内返済予定の長期借入金	6,290	6,269
1年内償還予定の社債	358	190
未払法人税等	83	96
未成工事受入金	3,501	3,268
賞与引当金	810	892
完成工事補償引当金	62	93
工事損失引当金	3,319	2,574
損害補償損失引当金	805	789
災害損失引当金	77	63
資産除去債務	5	5
その他	3,342	2,366
流動負債合計	51,657	42,289
固定負債		
社債	335	240
長期借入金	11,180	12,736
繰延税金負債	—	5
再評価に係る繰延税金負債	2,243	2,243
退職給付引当金	3,204	3,229
役員退職慰労引当金	284	259
事業構造改善引当金	300	300
資産除去債務	141	142
負ののれん	637	617
その他	2,271	2,486
固定負債合計	20,599	22,261
負債合計	72,257	64,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,220	12,775
自己株式	△276	△276
株主資本合計	27,312	27,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	2
土地再評価差額金	99	99
その他の包括利益累計額合計	129	101
少数株主持分	165	180
純資産合計	27,607	28,149
負債純資産合計	99,864	92,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	48,631	38,477
売上原価	42,277	34,771
売上総利益	6,354	3,706
販売費及び一般管理費	3,321	3,088
営業利益	3,033	617
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	35	38
受取賃貸料	110	115
貸倒引当金戻入額	—	312
負ののれん償却額	21	21
持分法による投資利益	1,217	333
その他	62	54
営業外収益合計	1,452	880
営業外費用		
支払利息	427	406
賃貸費用	237	259
その他	45	64
営業外費用合計	709	729
経常利益	3,777	768
特別利益		
前期損益修正益	15	—
貸倒引当金戻入額	218	—
役員退職慰労引当金戻入額	5	—
保険差益	—	338
負ののれん発生益	3,860	—
その他	29	0
特別利益合計	4,129	338
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	18	14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	116	—
災害による損失	—	61
その他	2	13
特別損失合計	143	90
税金等調整前四半期純利益	7,762	1,016
法人税、住民税及び事業税	326	94
過年度法人税等	12	—
法人税等調整額	534	64
法人税等合計	873	159
少数株主損益調整前四半期純利益	6,888	857
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△20	17
四半期純利益	6,908	839

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,888	857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△2
その他の包括利益合計	△20	△30
四半期包括利益	6,867	826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,889	811
少数株主に係る四半期包括利益	△21	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,762	1,016
減価償却費	1,176	1,077
負ののれん償却額	△21	△20
負ののれん発生益	△3,860	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	251	△364
賞与引当金の増減額 (△は減少)	27	82
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△159	△744
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△48	15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18	25
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△171	△24
受取利息及び受取配当金	△41	△43
支払利息	427	406
持分法による投資損益 (△は益)	△1,217	△333
保険差益	—	△338
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	5
有形固定資産売却損益 (△は益)	△18	0
有形固定資産除却損	18	14
売上債権の増減額 (△は増加)	68	7,275
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	1,727	△248
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△61	△39
仕入債務の増減額 (△は減少)	700	△4,739
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△2,190	△232
その他	△2,001	786
小計	2,387	3,575
損害賠償金の支払額	—	△370
保険金の受取額	—	814
法人税等の支払額	△748	△81
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,638	3,938
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	100	—
有形固定資産の取得による支出	△442	△969
有形固定資産の売却による収入	71	0
無形固定資産の取得による支出	△200	△146
投資有価証券の取得による支出	△7	△3
投資有価証券の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	△25	△6
貸付金の回収による収入	13	13
利息及び配当金の受取額	41	43
その他	0	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△450	△1,060

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△964	△2,581
長期借入れによる収入	5,700	5,220
長期借入金の返済による支出	△3,208	△3,686
社債の発行による収入	350	—
社債の償還による支出	△323	△263
利息の支払額	△438	△406
リース債務の返済による支出	△314	△369
配当金の支払額	△284	△284
その他	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	514	△2,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,700	500
現金及び現金同等物の期首残高	7,349	6,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,050	6,995

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	27,465	14,233	3,706	45,405	3,226	48,631
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	548	266	4	819	193	1,012
計	28,013	14,499	3,711	46,224	3,420	49,644
セグメント利益又は損失(△)	3,383	726	△35	4,074	△211	3,862

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,074
「その他」の区分の損失(△)	△211
セグメント間取引消去	106
全社費用(注)	△988
その他の調整額	53
四半期連結損益計算書の営業利益	3,033

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	21,738	9,652	4,092	35,483	2,994	38,477
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	409	120	—	529	95	625
計	22,147	9,772	4,092	36,013	3,089	39,103
セグメント利益又は損失(△)	1,920	△203	33	1,750	△408	1,342

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,750
「その他」の区分の損失(△)	△408
セグメント間取引消去	88
全社費用(注)	△835
その他の調整額	23
四半期連結損益計算書の営業利益	617

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 受注実績

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (百万円)	
		対前年同 四半期比(%)
鉄構	16,996	△8.7
土木	11,605	+121.9
建築	3,875	△7.7
その他	3,698	△0.3
合計	36,176	+13.9

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。

② 販売実績

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (百万円)	
		対前年同 四半期比(%)
鉄構	22,147	△20.9
土木	9,772	△32.6
建築	4,092	+10.3
その他	3,089	△9.7
計	39,103	△21.2
セグメント間取引相殺消去	△625	△38.3
連結	38,477	△20.9

(注) 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載していません。